（栃木県矢板市）データセンターに関する　Q&A

（令和8年10月30日時点）

No	質問	回答
1	データセンターとは何ですか。	データセンターとは、皆さんが、インターネットやアプリをいつでも快適に使えるように支えている施設です。施設内では、膨大なデータを24時間休みなく、安全かつ確実に保管・運用しています。
2	なぜ、データセンターの誘致に取り組んでいるのでしょうか。	データセンターの誘致は目的でなく、データセンターの立地により得られる固定資産税などの税収を確保する手段として考えています。 その得られた財源を市民福祉の向上や成長を支える社会基盤の強化に投資し暮らしやすい環境を整えるなど、市民の幸福を向上させることを目的として誘致に取り組んでいます。
3	データセンターが立地すると税収は増えますか。	データセンターには高額な先端設備が設置されることにより、多額の固定資産税収入が見込まれます。 №2にも記載のとおり、その得られた財源を市民福祉の向上や成長を支える社会基盤の強化に投資し暮らしやすい環境を整えるなど、市民の幸福を向上させることを目的として誘致に取り組んでいます。
4	市街地などのまちなかに大きなデータセンターが建つことはありますか。	市街地などのまちなかを避け、産業の集積を目的とした工業地域など周辺環境と調和のとれる地域にデータセンターの立地を誘導します。
5	データセンターが大量の電気を使うことで、立地する地域の電気代が上がることはありますか。	電気料金は発電コストなど様々な要因で決まるため、電力需要が増えることで、特定の地域で電気料金が上昇することはありません。
6	データセンターの立地による地域経済効果はありますか。	データセンターの建設期間中においては、最大で1000人規模の人員が建設関連業務に携わることが見込まれており、土木・建築工事の地元発注、工事関係者による宿泊施設や飲食店の利用などにより、市内への経済効果が期待されます。
7	データセンターの立地により雇用は生まれますか。	データセンターの集積が図られた際には数百人規模の雇用が生まれることを想定しており、職種としてはデータセンターの技術者や施設の維持管理、警備等が見込まれます。
8	データセンターは多くの水を使うと聞きましたが、大量の水を使うのでしょうか。	データセンターの水利用は技術の進歩が著しく、空冷や水又は特殊な液体の循環によってあまり水を使わずに操業しているデータセンターも既に多く立地しています。 矢板市においては、これらの仕組みを導入する企業の誘致などを通して適正かつ効率的な水利用を促してまいります。